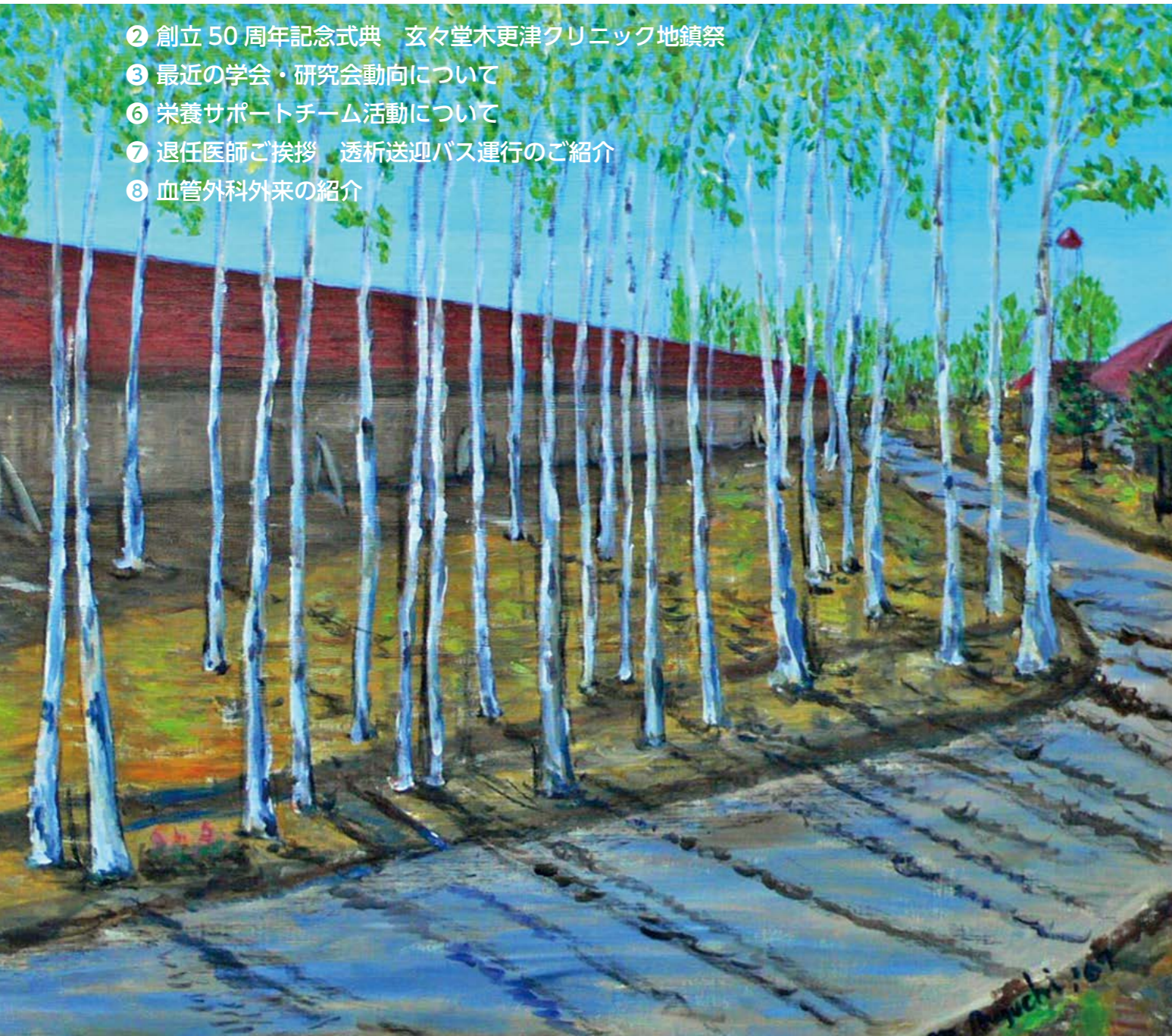


# げんげんどう

## 特集 下肢静脈瘤に対するレーザー治療

2022.7 No. 91

- ② 創立 50 周年記念式典 玄々堂木更津クリニック地鎮祭
- ③ 最近の学会・研究会動向について
- ⑥ 栄養サポートチーム活動について
- ⑦ 退任医師ご挨拶 透析送迎バス運行のご紹介
- ⑧ 血管外科外来の紹介



表紙の絵：呼吸器内科部長 野口医師が描いた油絵です。余市にあるニッカの蒸留所には遠くスコットランドでその技術を習得したニッカウキスキーの創業者である竹鶴正孝さんの情熱がこもっています。余市蒸留所は今でも活躍しており、竹鶴正孝さんのひたむきな情熱の宿る庭園は様々な花や木々が四季折々の表情を見せてくれます。

### げんげん 日和



作：まつ

血管外科外来では、下肢静脈瘤や透析患者さんの合併症の一つでもある血管障害、糖尿病性足病変、そして、胼胝(べんち)、鶏眼、巻き爪、肥厚爪等の処置を行っています。

医師の診察に加え、ケアが必要な患者さんにつきましては、看護師が足の観察を行い、患者さんに合わせたケアを行っています。

また、創傷や胼胝などが生じるリスクの高い患者さんには、義肢装具士と理学療法士が専門的な視点で評価を行い、靴やインソール(靴の中敷き)のご紹介をしています。

外来は毎週月曜日の午後に診察しています。足のことでお困りのことがございましたら、一度「相談ください」。

### 血管外科外来のお知らせ

毎週月曜日午後の診察です。  
担当：北岡 齋 医師  
\*第1・3月曜日：義肢装具士・理学療法士による装具の相談をお受けしています。



病棟におけるWOC回診の様子

創傷(wound)・オストミー(Ostomy)・失禁(Continece)領域において問題を抱えた患者さんへ専門的な知識を用いてケアを提供する看護師です。頭文字を取ってWOC(ウォック)ナースと呼ばれることが多いです。

当院における関連施設すべてにおいて、組織横断的に活動しており、対象となる方の抱えている問題に対して、思いを大切にしながら皮膚のケアや排泄ケアを行い、その人らしい生活ができるようサポートを行っています。

皮膚・排泄ケア認定看護師とは？

佐藤 茜

『当院の専門外来』 ～血管外科外来の紹介～

当院の専門外来を紹介いたします。今回は血管外科外来です。

皮膚・排泄ケア認定看護師

外来看護師主任

佐藤 茜

### 新型コロナウイルスワクチン接種 4回目のお知らせ

新型コロナウイルスワクチン4回目接種が7月から始まりました。君津市民の方は、「君津市新型コロナワクチンコールセンター」で予約を受け付けています。君津市民以外の方は、当院で受付をしています。詳細はホームページをご確認ください。

玄々堂君津病院 各お問い合わせ番号 月曜日～土曜日(日曜・祝日は除く)

玄々堂君津病院  
0439-52-2366  
代表

外来診療予約  
0439-52-7068  
診療予約・予約変更

地域連携室  
0439-52-2457  
医療機関からの患者さんのご紹介

総合腎臓病センター  
0439-52-2750  
腎臓病関連・腎臓病コーディネーター



# 医療法人新都市医療研究会「君津」会 記念式典 祝 創立50周年

**事務長 宮本 弘幸**  
 6月5日、オークラアカデミアパークホテルにおいて、医療法人新都市医療研究会「君津」会創立50周年記念式典を開催しました。また、当法人の創設者である池田貞雄会長の三回忌にあたり、併せて偲ぶ会を執り行いました。

式典には、来賓、多くの医療関係者の方々にご臨席いただき職員と共に50周年の節目を祝っていただきました。

主催者を代表して池田理事



長からは、「ここまで発展してこられたのは、池田会長を始めとする創設の職員、そして現職員の熱意はもちろんですが、様々な形でご支援いただいた地域の皆さま、お世話になつて行政の皆さま、関係医療機関の皆さまのおかげであり、厚く御礼申し上げます。この50年間、私たちは常に一人ひとりの患者さんを大切に、良質で安心なぬくもりのある医療を提供するといふ、創立からの理念を礎として、日々病院運営に取り組んできました。この理念を大切に、地域医療を通じて社会貢献したいと考えています」と、感謝の言葉と今後の決意を語っていただきました。

当法人は、昭和47年2月11日「玄々堂坂田診療所」として誕生、50周年を迎えました。これからも医療を通じて千葉県君津地域、神奈川県大和地域の皆さまに貢献できるよう、職員一同全力を挙げて地域医療に取り組んでまいります。



（仮称）木更津のクリニック併設サニタス付き  
高齢者向け住宅新築工事  
**地鎮祭式場**

構造 鉄骨造4階建 敷地面積 9,551.82㎡  
建築面積 2,290.99㎡  
延床面積 6,279.17㎡

総務課長 石寄 照彦

5月26日、木更津市中里の移転用地において地鎮祭が執り行われました。移転用地をご提供いただきました近隣住民の皆さまをはじめ、設計業者「kwas+ppdd設計共同体」及び、施工業者「戸田・キミツ鐵構建設共同企業体」にもご臨席を賜り、滞りなく地鎮祭を執り行うことが出来ました。2023年8月の竣工を目標に安全に工事を進めてまいります。



## 最近の学会・研究会動向について

透析統括顧問 三浦 國男

2年前前から続いている新型コロナウイルス感染症も最近では減少傾向にあることから、学会開催方式もWebのみから今までの現地参加を組み合わせたハイブリッド型に変わってきています。この状況の中で徐々に臨床工学技士のメンバーと、日本血液浄化技術学会（4月・札幌市）、日本臨床工学会（5月・つくば市）に、立て続いて現地参加し発表を行ってきました。もちろん感染対策を厳重に行った上での参加です。どちらの学会も活発な質疑応答で賑わい、現地参加ならではの参加者の興味の高さを直接肌で感じることが出来、有意義でありました。そして、進化し続けている医療の技術と知識、透析医療の「持続可能な開発目標」SDGs (Sustainable Development Goals)、これからの課題や展望などをこの学会を通して知ることが出来ました。

話題が変わりますが、本年12月に第49回千葉県透析研究会が開催され



日本臨床工学会で発表

る予定です。この研究会は千葉県内の透析治療に携わる多職種の約1500名が参集する大きな研究会です。今回、当院の大崎副院長がその当番世話人になりました。病院一丸となり準備に取り組んでいくことになりましたが、今回の知見を微力ながらも活かせればと思っております。

## 当院における一次救命処置の教育

BLSインストラクター 3B病棟看護師 桐生 静香

当院では職員対象に一次救命処置の教育を開始しています。BLS (Basic Life Support) とは呼吸が止まり心臓も動いていないとみられる人への救命措置のことをいいます。人間の脳は2分以内

に心臓蘇生が開始された場合、その救命率は90%ですが4分で50%、5分では25%まで救命率が低下してまいります。

院内で救命事案が起きてしまった場合に備え、医療資格者だけでなく全職員が一次救命の心肺蘇生法である胸骨圧迫、すなわち心臓マッサージなどの知識、技術におけるスキル向上を目指しています。



病棟看護師対象BLSトレーニング

## 感動のフレッシュレポート発表会 看護部長 木村 純子

6月16日、21日の2日間に分けて教育委員会によるフレッシュレポート発表会が開催されました。

フレッシュレポートとは、新人看護師が1年間で、心に残った看護を振り返り発表する研修です。私は毎年、この発表会を楽しみにしています。2021年度の新人看護師13名の発表では、患者さんのペースに合わせることや患者さんの不安や痛みを理解することなど、患者さんに寄り添うことの大切さを学んでいました。

たくさんの学びをいただいた患者さんに改めて感謝申し上げます。そして、新人看護師を温かく支援してきた先輩看護師の方々が当院の看護を作り上げてきたことを実感しました。独り立ちしていく新人看護師に乾杯です。

新人看護研修修了証をいただきました！



# 特集

## 当院での下肢静脈瘤に対するレーザー治療

〜安全かつ満足度の高い治療を目指して〜

玄々堂君津病院 血管外科部長 北岡 斎

### 下肢静脈瘤とは・・・

足から血液を心臓に返す静脈の一部で血液が逆流してしまつ病気です。

本来、静脈には血液が反対方向に流れないように逆流防止弁が備わっていますが、下肢静脈瘤では様々な原因(立ち仕事、妊娠出産、遺伝の関与など)により逆流防止弁が壊れてしまい、逆流した血液が膝下にた

まった状態(つっ血)となります。

つっ血は、足のむくみ、

だるさ、頻回なこむら返りを引き起こし、病気が進行すると、難治性の皮膚炎や、皮膚潰瘍など生活の妨げとなる重大な症状にもつながる恐れがあります。



### ○当院での静脈瘤治療

静脈瘤の治療方法にはいくつかの選択肢がありますが、当院ではほぼすべての治療法の選択が可能です。

#### ①弾性ストッキングによる圧迫療法

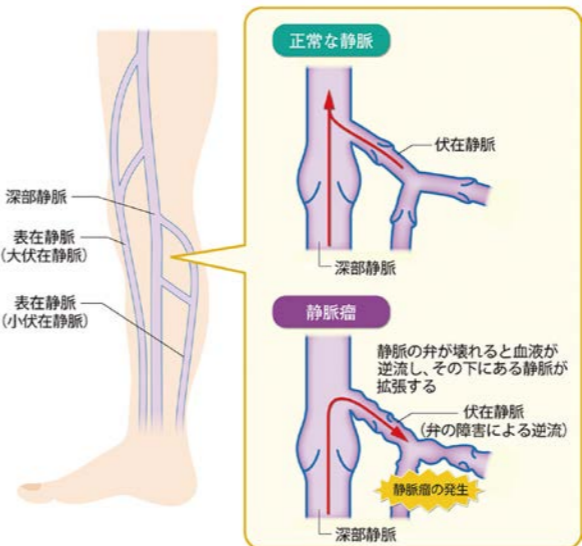
病気を治す効果はありませんが、症状を緩和したり、病状の進行を抑えることが出来ます。

#### ②静脈剥去手術(ストリッピング手術)

古くから存在する手術ですが、現在でもニースのある有効な手術法です。根治性が高く、レーザー治療で再発した患者さんにも効果があります。

#### ③レーザー治療

現在では治療成績も安定しており、保険適応で行うことが出来ます。静脈剥去手術同様に根治性が高い。



## 下肢静脈瘤と弾性ストッキングについて

ストッキング・コンダクター

3B病棟看護部主任 松本 紫織

下肢静脈瘤は、足の静脈の血管内に血液が徐々に溜まり静脈の血管がコブ状に膨らんでしまう病気です。足から上半身に向かう血液の逆流を防止する静脈弁が必要以上に開いたり、弁が壊れた状態となり血液が逆流してしまうのが原因です。

未成年では14%、成年では62%、高齢者では82%の方に静脈瘤があるとされています。放っておくと徐々に進行し自然に治癒することはありま

**1** ストッキングの中に手を入れ、かかとの部分を内側から軽くつまみます。

**2** ストッキングを裏返していきます。そして、つまんだかかと部分まで裏返します。つま先部分は裏返さないのがポイント!

**3** 足のつま先をストッキングの奥に入れかかとまで履きます。かかとを最適な位置に合わせ、かかとの上を持ち、足首まで履きます。

**4** ねじれ・たるみ・しわに注意しながら、少しずつ引き上げてください。手で引き上げることが難しい方は・・・上図のように、ゴムロの内側に両手の親指を差し込み、手だけで引き上げようせず、上体を後ろに反らすような格好で、足を押し出しながら履くと比較的楽に履くことができます。その場合、自分の後方に倒れてしまわないようご注意ください。

**5** 膝裏あたりまでたくし終えたら、全体をなでて整えてください。つま先の空いている部分からフットスリップを抜き取ってください。

■つま先なしタイプ(エナジーIIのみ) フットスリップ(装着補助具)を履いておきます。市販のビニール袋を代用するのOK。

■つま先なしタイプ(エナジーIIのみ) つま先の空いている部分からフットスリップを抜き取ってください。

### 弾性ストッキングの使用時に注意したいこと

- 必ず椅子などに座って履いてください。立ちながら履くと転倒する恐れがあります。
- 弾性ストッキングは、正しく清潔な状態で使用しないと皮膚炎やかぶれを起こし、かえって足の調子が悪くなる場合があります。
  - ①踵の位置を間違えない
  - ②折り曲げたり、シワのある状態で履かない
  - ③上端部が丸まったまま履かない

\*医療用弾性ストッキングと市販用着圧ソックスとは違いますのでご注意ください。

く、かつ身体への負担も少ない治療です。当院では特にレーザー治療に力を入れております。

### ○当院でのレーザー治療の特色

当院では、日帰りレーザー治療をメインに行っておりますが、入院ベッドを備えた病院であることを生かし、高齢者や持病をお持ちの患者さん、一人暮らしで日帰り手術が心配な患者さんに対して、入院での治療も選択可能です。

また、当院では手術時の麻酔管理を麻酔科専門の医師が担当します。

高齢の方や、持病のために手術に対するリスクをお持ちの患者さんに対しても、より安全な治療が提供できる体制を整えております。

今後は、さらに身体の負担の少ないスーパーブルー治療(接着剤を用いた治療)も導入予定であり、今までは手術を断念せざるを得なかった患者さんにも治療を受けて頂けるよう努力していく所存であります。

レーザー光を照射して発生した熱により、静脈を内側から閉じる。

術前 術後1ヶ月

## 血管内レーザー焼灼術(EVLA)に関わって

手術室看護師 加藤 裕子

下肢静脈瘤に対するレーザー治療が導入されて2年がたちました。

北岡先生の指導のもと手術室、病棟、外来、臨床工学科と連携し治療に携わっています。

手術室では、当日入院され午後レーザー治療を行う患者さんの緊張や心配なお気持ちを少しでも和らげることができるよう、担当する手術室看護師が病棟を術前訪問しております。

治療前のわずかな時間ではありますが、患者さんとお会いし、会話を通じてリラックスした気持ちで治療を受けていただけるよう心がけています。

### 下肢静脈瘤治療における外来での対応

外来看護部主任 手島 有紀

当院では毎週月曜日に予約制で、血管外科外来にて下肢静脈瘤の診療を行っております。下肢静脈瘤とは足の血管の病気で、静脈瘤は血管(静脈)が文字どおりコブ(瘤)のように膨らんだ状態のことを言います。「足がむくむ、だるい」が発症のサインです。日帰り手術、入院、レーザー治療、ストリッピング手術などの治療選択の対応をしています。気になる症状がある方は是非、外来受診をお勧めします。



## 栄養サポートチーム活動について

栄養科主任 小泉 美佐子

### 栄養と運動で病気に勝てるよう支援

栄養サポートチームを略してNST (Nutrition Support Team) といいます。

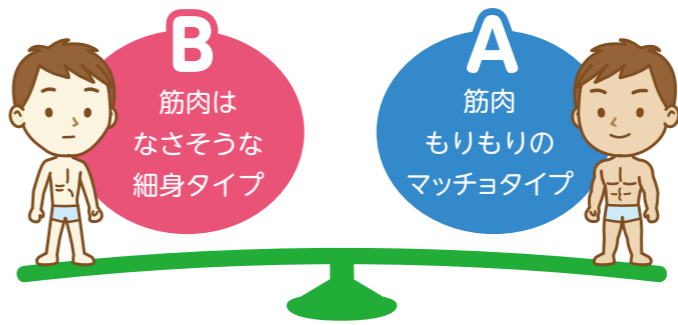
突然ですが質問です。

次のタイプで、「病気が早く治りそう」と思う方はどちらだと思いますか。

A・筋肉もりもりのマッチョタイプ

B・筋肉少なそうな細身タイプ

## 病気が早く治りそうなタイプはどっち?



大抵の皆さんは、Aタイプを選ぶのではないのでしょうか。まさにその通りで、筋肉量と病気の関係は証明されています。

では、なぜそうなのかを考えてみましょう。

病気に勝つためには、「体力」が必要です。ね。「体力がある」とは、身体に「十分な筋肉がある」とも言い換えることができます。

筋肉と、病気を予防する免疫細胞は、両方



私たちがNSTスタッフです!

とたんぱく質からつくられます。ですから、「筋肉が少なく」となると、身体たんぱく質も不足している状態なので「免疫細胞も不足」している可能性が高いのです。

「免疫細胞が不足」すると、体外から入ってきた細菌やウイルスと戦う力が弱まり、肺炎等の病気になるやすく、もともとの病気に感染症が追加されるリスクが高まります。

そこで、とても大切な筋肉は、栄養と運動で維持することができます。入院中は、食事や点滴で栄養をとり入れ、リハビリで筋肉を刺激し筋肉維持に努めます。

しかし、患者さんは、病気と闘いながら、自分の栄養面を考えることは難しいですね。食事が食べられない人、また食べたとしても栄養が取れない人等の栄養問題は、私たちNSTがサポートします。栄養面の問題は、様々な要因があるため、医師、管理栄養士、看護師、薬剤師、リハビリ等でチームを組み、カンファレンスや回診を行い、栄養面をサポートします。

毎週木曜日の午後、病棟回診を行っています。栄養面が心配な方は、お声かけ頂きたいと思います。



NSTの病棟回診

## 当院の栄養サポートチーム活動

### 退任

#### 退任医師ご挨拶

8月末をもって退任される佐藤和弘医師からのご挨拶です。新天地でのご活躍をご期待申し上げます。

わが玄々堂は、永久に不滅!!

佐藤 和弘 医師

2011年7月に当院へ着任し、早10年以上の歳月が経ちました。一般外科・血管外科診療はもちろんのこと、フットケア委員会の立ち上げ、褥瘡委員会など、様々な事に携わらせていただき、忙しいながらも充実した日々を送らせていただきました。

当院はその特性上、透析を受けている患者さんが多く、着任時には、足のトラブルを抱えた方が多くいらっしゃいました。下肢切断などの大きなトラブルを防ぐため、フットケア委員会・外来を開設しましたが、自分一人の力では当然もできず、委員会のメンバー、他のコメディカルの皆さま



の力を借りながら、力不足ながらも自分なりに全力で対処させて頂いたつもりです。が・・・かなりいろいろわがまを言ってしまうので、職員の皆さまから恨まれないか心配です。私は当院から離れることになりませんが、わが玄々堂は、永久に不滅です!

#### 透析送迎バス運行のご紹介

事務次長 佐藤 年成

当院の総合腎臓病センターでは、多くの患者さんが透析治療を受けています。しかし、透析患者さんの中には体調に不安があったり、交通手段が無いために、通院にお困りの方も少なくありません。当院では、透析患者さんが安心して治療に専念できるよう、透析送迎バスを無料で運行しています。

透析送迎バスは、患者さん宅と各透析施設(玄々堂君津病院・玄々堂じんクリニック・玄々堂木更津クリニック)とを結ぶ重要な交通手段です。現在、約300名の患者さんが利用しています。

車両には10人乗りのワゴン車を15台使用し、総勢26名のドライバーがシフトを組んで送迎業務にあたっています。送迎中は患者さんが安全・快適にご乗車いただけるよう、交通法規の遵守は勿論の



ドライバーと運営スタッフ

こと、常に安全運転を心掛けていきます。また、患者さんの急な体調変化に伴う乗車予定変更に対しても、透析室・看護部・事務部・運転担当部門が連携して柔軟に対応し、送迎時刻に乱れが生じないように努めています。